

第6回 日本体育大学救命蘇生研究会 社会変化を見すえた病院前救護の大いなる変貌

これからの変革



主催：日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科

会長：小川理郎(救急医療学科学科長) 後援：東京消防庁 救助救急研究会

開催日時：2023年12月23日(土) 9:30~18:30

開催場所：日本体育大学 東京・世田谷キャンパス(世田谷区深沢7-1-1)

ハイブリッド開催 (現地開催+ Web配信)

シンポジウム：消防機関、病院、米国シアトル、海上保安庁、自衛隊、民間企業での研究、

今後を見据えた病院前救護に関わる分野で活躍する卒業生からの提案

会場には、ポスターセッションも開催いたします。

申込方法：QRコードより参加登録をお願い致します。

申込期間：2023年9月4日(月)~12月15日(金) 参加費用：無料

本研究会の参加証は、救急救命士の日常教育を含めた再教育のポイントとしてご活用いただけます。

過去の日本体育大学救命蘇生研究会の様子は、右のQRコードからアクセスしていただき、

日本体育大学救命蘇生・災害医療学研究室ホームページからご覧いただけます。

問合せ先：救急医療学科 三橋 mail: m-mitsuhashi@nittai.ac.jp

参加登録



ホームページ



第6回 日本体育大学 救命蘇生研究会 プログラム

時間	内 容		
9:30~9:40	【開会式】	救急医療学科 学科長 小川 理郎	
	【シンポジウム】 「社会変化を見つめた病院前救護の大いなる変貌」		
9:40~10:45	社会変化を見つめた病院前救護の大いなる変貌	保健医療学部学事顧問 遠山 純司	
	シアトルパラメディック取得までの挑戦 (第3報)	保健医療学研究科 研究員 小玉 響平	
	G7広島サミットでのDMAT事務局での活躍	保健医療学研究科 修士課程 2年 増留 流輝	
	コミュニティパラメディックについての内容	保健医療学研究科 博士課程 3年 郡 愛	
	消防機関で活躍する救急救命士	東京消防庁 滝野川消防署 光畑 あかり	
	海上保安庁で勤務する救急救命士	第四管区海上保安本部 鳥羽海上保安部 渡邊 昂俊	
10:45~10:55	休 憩		ポスターセッション
10:55~12:00	都市部医療機関で活躍する救急救命士	保健医療学研究科 博士課程 3年/日本医科大学付属病院 須賀 涼太郎	(ラウンドビュー)
	都市部医療機関で活躍する救急救命士	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 山本 輝	
	地方医療機関で活躍する救急救命士	地方独立行政法人 山梨県立中央病院/保健医療学研究科 研究員 植松 望実	
	【特別発言】 救急救命士の将来展望について	救急振興財団 東京研修所 田邊 晴山 先生	
	【総合討論】 「ついに来た救急救命士の大いなる変貌」	シンポジウム発表者	
12:00~13:00	【ランチョンセッション】 VR (Virtual Reality) 体験	救急救命専門指導教員 原田 諭	
	第二部		
13:00~13:45	【教育講演 1】 横浜Fマリノス救護活動に関する報告	F・マリノススポーツクラブ 地域連携本部 牧野内 隆 様	
	スタジアム救護における活動状況と今後に向けて	救急医療学科 3年 市川 悠	
	セッション 1 「教育」		
13:45~14:30	～絆～Change in Student's State of mind as they learn from their paramedic	救急医療学科 4年 相坂 颯汰	
	大学院生からのシアトル海外医療研修参加の意義	保健医療学研究科 修士課程2年 山口 愛鈴	
	UMBC海外医療研修参加の意義	救急医療学科 4年 瀧澤 玲奈	
	岡山子どもメディカルラリー	救急医療学科 3年 鈴木 唯華	
	更なる学生教育の充実に動き出した、リメディアル教育	救急医療学科 助教 成川 憲司	
14:30~14:40	休 憩		
14:40~15:10	【教育講演 2】 研究者をみすえた救急救命士学生のあり方	日本体育大学 准教授 山田 真吏奈	ポスターセッション
	セッション 2 「実習」		(ラウンドビュー)
15:10~15:45	ふるさと実習が学生の進路決定に及ぼす効果	救急医療学科 3年 大竹 涼馬	
	病院実習中のドクターカー出場症例から学んだこと ～現場から院内に繋がるチーム医療を体感して～	救急医療学科 3年 岩崎 初芽	
	東日本大震災の軌跡	救急医療学科 4年 高松 隼大	
	命の重さと自然を身体で感じた体験報告～河川実習で学んだこと～	救急医療学科 3年 秋葉 裕巳香、今村 海里	
15:45~15:55	休 憩		
15:55~17:05	【特別講演 1】 次世代の救急救命士に求められる災害医療のあり方	神奈川県医療危機対策統括官 阿南 英明 先生	
17:05~17:15	休 憩		
	セッション 3 「災害」		
17:15~17:55	コロナからの勝利宣言、4年間の学生生活から	救急医療学科 4年 森 慶次郎	
	病院救急救命士と地域連携～地区医師会との合同訓練に参加して～	東京曳舟病院 救急救命士課 長橋 和希	
	秋田県でのボランティア活動について	救急医療学科 3年 駒木根 涼央	
	車両単独の交通事故発生現場に遭遇した学生たちによる救助活動について	救急医療学科 4年 遠藤 信太郎、渡邊 瑞季、河邊 大空	
17:55~18:15	【特別講演 2】 学生たちによる救助活動について救護者の立場から	礼文島妙慶寺別院 日蓮宗僧侶 本多 妙照 様	
18:15~18:30	【閉会式】	救急医療学科 学科長 小川 理郎	

※ プログラム内容が、一部変更となる場合がございます。ご了承ください。